

自治体職員のまちづくりマネジメント力向上研修プログラム開発～日本が世界に誇れる持続可能な浜通り地域のまちづくりの実現～

☐ 住む ☐ 癒す ☐ 学ぶ
☐ 動く ☐ 楽しむ ☒ その他

① 提案によって解決する自治体の課題のイメージ

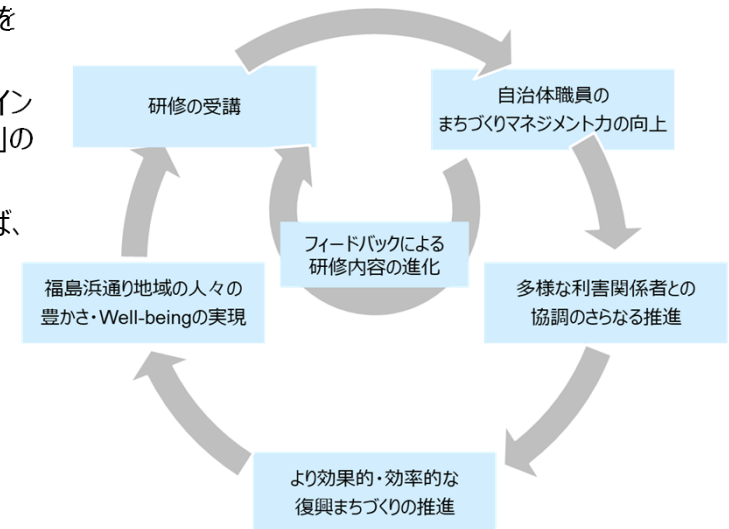
- ・ 浜通り地域の各自治体においては、復興に向けた様々な実証実験等を実施する機会も多いと想定されるが、実証実験では、進捗・成果の確認、実装に向けた検討、計画の見直しのプロセスを繰り返す必要がある。一般的に、そのプロセスを繰り返すうちに、“課題解決に繋がるのだろうか”“これで正しいのだろうか”といった悩みが生まれ、実証実験をこなすことが目的化してしまうといった、実証疲れが発生することがあり、浜通り地域の実証実験においても、これが課題となることが想定される。
- ・ 実証実験を通じた復興まちづくりの効果的・効率的な推進には、俯瞰的な視点を持ち、ビジョンから日々の業務までを一貫して整合し、関係する様々な利害関係者と協調しながら運営するという高度なマネジメント力が必要とされる。そのマネジメント力を自治体職員が身につけることで、様々な実証実験を成功に近づける可能性を高める。

② 提案の概要

- ・ ひと中心で持続可能なまちづくりのマネジメント力を向上させるための、自治体職員向けの研修プログラムを開発し試行的に実施する。
- ・ EBPMの方法論を基盤に、弊社がノウハウ蓄積をしている、持続可能な都市とコミュニティの運営ガイドラインの国際標準「ISO37106」及び、まちの豊かさ・Wellbeingを可視化する都市評価指標「SUGATAMI」の要諦を組み合わせ、まちの運営に携わる自治体職員に最適化された研修群を開発する。
- ・ 研修を通じて、自治体において実際に持続可能なまちづくり・地域づくりを実践したいといった意向があれば、翌年度は伴走支援型でまちづくり・地域づくりへの発展を検討する。（具体的な取組内容は自治体の要望に応じて個別相談）

<想定する研修テーマと実施時期のイメージ>

#	研修テーマ（現時点案）	実施時期
第1回	（基調講演）浜通り地域における持続可能なまちづくりのあり方	8月頃
第2回	持続可能なまちづくりマネジメントの方法論	9月頃
第3回	持続可能なまちづくりマネジメントの実践ワークショップ	10月頃
第4回	まちづくりにおける評価手法～持続可能なまちづくりするためのKPI設定の考え方～	11月頃
第5回	持続可能なまちづくりにおける評価の実践ワークショップ	12月頃



<研修を起点としたまちづくりマネジメントの好循環>

③ 事業実施に対し必要な要件

- ・ 研修の参加者募集及び研修への参加
- ・ 研修会場の提供
- ・ 研修内容とその実践に対するフィードバックの提供

④ 想定スケジュール

- ・ 7月：参加自治体との研修内容・場所・方法等すり合わせ
- ・ 8月～12月：研修の実施（計5回、1回あたり2時間程度を予定）
- ・ 1月：研修の振り返りと自治体からのフィードバック

⑤ 地元企業等とのマッチング希望

☐ あり ☒ なし

会社名：株式会社NTTデータ経営研究所